

＼ 誰にも等しく権利擁護 /



<https://www.yokohama-tubasa.org>

発行元：認定NPO法人 よこはま成年後見つばさ
〒240-0066 横浜市保土ヶ谷区釜台町5-5
ルネ上星川5-202
tel & fax 045-744-5600
mail: info@yokohama-tubasa.org

つばさの法人後見は「私らしく」を手助けします

Contents

- 4年ぶりの「保土ヶ谷区民まつり」に参加・・・ p 1
- New職員紹介 / これからの活動予定・・・ p 2
- 寄付者紹介 / 助成金紹介・・・ p 2
- 第2回法人評価「個別事例振り返りシート」
/ 研修会(ねくさす・東京地方税理士会)・・・ p 3

＼ 4年ぶりの /

「ほどがや区民まつり」に参加

2022.10.29@保土ヶ谷公園

10月29日（土）4年ぶりの「ほどがや区民まつり」に参加しました。当日は素晴らしい秋晴れで、開催を心待ちにしていた大勢の方々が、朝早くから保土ヶ谷公園入口に並んでいました。つばさのブースは会場入口近くということもあり、10時の販売開始前から、すでにたくさんの方が訪れてくれました。

つばさの出店内容は、2017年度の初参加からの「かざぐるま作り」と「風船の配布」。それから今年初めての「バザー用品販売」は、常に人だかりで

好評でした。つばさの「法人後見PRリーフレット」も120部用意しましたが、すぐに配り終わりました。

「かざぐるま作り」は、毎年子供たちに人気で、開始直後から順番待ちの列ができ、準備した200本があっという間に終了。4年ぶりに子供たちのステキな笑顔をたくさん見ることができました。

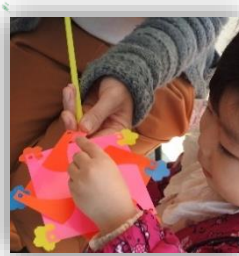
今年も、被後見人さんたちが「かざぐるま作り」の手伝いや、記録係カメラマンとして大活躍してくれました。ありがとうございました。



□にぎわっています！



□バザー用品は50円か100円！



□親子で作ります。



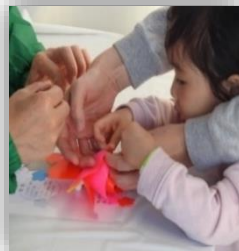
□むらさき色が人気。

4年ぶりの区民まつり
夢と希望をのせて
みんなで大いに
楽しもう！

□区民祭りのキャッチフレーズ



□作り方を思い出して・・・



□力を合わせて完成！



New

職員紹介

きりう

霧生 さとみさん



計画相談室ウィング

9月1日付で相談支援専門員として入職された霧生さんにインタビュー！

Q: **ウィング**に入られたきっかけは？

A: ご本人、ご家族、支援者の皆さんとやりとりし、ご本人がより良く生活するために、一緒に考えていく直接支援の仕事がやりたかったからです。

Q: **ウィング**で働き始めての感想を聞かせてください。

A: 毎日とても楽しく、わくわくしています。**ウィング**の仲間は個性豊かで、お互いを尊重し合って仕事をされ、良い刺激をもらっています。

Q: 趣味は何ですか？

A: 歌うことです♪
今は中断していますが、ゴスペルを歌ってます(^^♪

これからの活躍を期待いたします。

ウィングは、常勤職員4名になり、ますますパワーアップしています！

これからの活動予定

◆ 3年ぶりの「担当者会議」 ◆

日頃、後見活動をしていて不安に思ったり、悩んだりすることはありませんか？ざっくばらんに話し合える場として、担当者会議を開催します。つばさの近況や最近の相談傾向をお伝えします。3年ぶりに顔を合わせ、元気の出る集まりにしたいと思います。

日時：令和4年12月4日（日）13：30～16：00

場所：かるがも2階 星川地域ケアプラザ多目的ホール

◆ 新年会&音楽プログラム ◆

3年ぶりです！皆さまお誘い合わせの上、ご参加ください。恒例のピンゴゲームや丸山先生による音楽プログラムでお楽しみください。今回は手足を使った脳トレと、楽器（鈴、ミュージックベル）演奏が中心です。

日時：令和5年1月22日（日）13：30～15：30

場所：かるがも2階 星川地域ケアプラザ多目的ホール

※詳しい内容は、12月下旬ごろお知らせします。

寄付者紹介

株式会社トライフ
代表取締役社長 手島大輔さん

毎年、賛助会員団体の(株)トライフ（横浜市中区）の代表取締役社長の手島さんからご寄付を頂いております。手島社長とは「オーラルピース」の事業を開始された頃からのご縁です。

今年初め、歯磨き剤が国際宇宙ステーション（ISS）の搭載品に選ばれ、宇宙へ旅立つという朗報が飛び込んできました。常に挑戦し続け、長年の夢を叶えられて社会に貢献する手島社長は、星のように輝いています☆

つばさは、これからも応援し続けます！



↑朝日新聞掲載「ひと」欄（2022/10/29）
～宇宙で使われる抗菌の歯磨き剤を開発した手島大輔さん～



←宇宙飛行士若田光一さんが「オーラルピース」を使用！



スプレータイプは、新潟県の障がい者の就労支援などを担う施設が、製造や箱詰めなどを請け負っています。

← 父子の夢 歯磨き剤宇宙の旅
朝日新聞掲載（2022/10/6）

*「オーラルピース」情報はYouTubeで視聴できます。

ORAL PEACE - YouTube

助成金紹介

今年度も、複数の助成団体に申請しました。

助成金は、単に「お金を受ける」ものではなく、申請から精算までの手続きに結構な労力を要します。事業終了後に「成果報告書」の提出が義務付けられますが、事業を振り返ることで、今後の展望や将来を見据えて考える良い機会にもなります。2022年度の助成金名、助成額、事業内容は次の通りです。

- 1 ほどがや区協 ふれあい助成金 / 8万円
 - ・つばさサロン(月1回)
 - ・余暇支援活動（区民まつり、新年会、音楽プログラム、お花見）
- 2 日揮社会福祉財団 助成金 / 10万円
 - ・「法人後見専門員養成講座」開講(6月～11月)
- 3 みずほ信託 中西茂雄高齢者福祉基金 / 30万円 (今年度初)
 - ・成年後見相談支援事業など(初回相談等)
- 4 木下財団 障がい者福祉助成金 / 25万円 (今年度初)
 - ・ウィングの環境整備（パソコン、机、キャビネット購入）

第2回目 / 法人評価のための 「個別事例振り返りシート」

つばさは、2019年度に第1回目の法人評価を実施し、3年が経過した今年度は、第2回目を実施します。役員から評価委員6名を選出し、検討を続けてきました。

第1回目は、自己評価のほか利用者へのアンケート調査、第三者評価者による評価を実施しましたが、今回は昨年の日本総合研究所のヒアリング結果も踏まえ、まずは自己評価が大切ということで、絞って実施することにしました。最終的に、今後多くの法人で共通して使用できる標準的な「自己評価票」が作成出来ればと考えています。自己評価は、法人後見を拡げていく中で、その質をより良いものにしていく上で、とても重要なものと思います。

前回、2名の評価委員により行われた「個別事例評価」に代わり、今回は担当者に、それぞれが担当している

利用者全てについて「個別事例振り返りシート」を作成・提出してもらい、その結果を法人自己評価の資料とします。担当者の皆様のご意見を十分に聞けなかったという前回の反省と、この振り返りシートにより、日頃の活動について、改めて見直す機会にしようという思いで作りました。ご協力のほどよろしくお願いします。

なお、第1回目の法人評価の課題の振り返りについては、委員会で既にまとめました。これだけでもかなり意義のあるものです。最終的に、法人自己評価をまとめる際に併せて報告します。

「個別事例振り返りシート」の提出期限は12月9日です。ご不明な点がございましたら、チームリーダーまたはSVに聞いてください。（代表理事：渡邊 修一）



11月10日(木)



「ねくさす」

2団体から

研修依頼を受けました



11月11日(金)

「東京地方税理士会」

成年後見制度研修 ～相談から実践まで～

講師：熊谷美江子副代表、齋藤理事

「横浜障がい相談システム ねくさす」(西区)で、研修を行いました。参加者は「横浜障がい相談システム ねくさす」の職員の皆様で、基幹相談支援センター、自立生活アシスタント、計画相談、後見的支援室で相談や支援をしている方たち等9名でした。

つばさを紹介した後、障がいのある方が成年後見制度を利用してもらう場合の特徴や注意点を挙げ、事例を紹介しながら支援の様子を伝えました。つばさは、ご本人たちに相談から関わっていることや、就任した後も支援者たちとの連携を大切にしていることを話しました。

どのようにすれば、ご本人との関係性が築けるかという質問では、ご本人の意向を大切に、じっくり焦らず長くお付き合いする気持ちで接すると、ふとした機会に心を開いて貰えたという経験を話しました。

成年後見の実務 ～法人後見の実務～

講師：渡邊代表理事、篠崎副代表

「税理士会館」(中区)で研修を行いました。日頃、つばさの経理事務でお世話になっている板倉先生の関係で、あまり馴染みのない税理士の方々の研修会でした。

どのような話をしたら良いか迷いましたが、事前に寄せられた税理士の皆様の質問に答えながら、「つばさ」の歩み、現状、事例紹介を行いました。約20名ほどの方々に、熱心に話を聞いていただきました。

研修後の懇親会は、税理士会から高橋専務理事、板倉先生、税理士会 成年後見支援センターの清水所長、同センターの榊原相談員が参加されました。

その席では、ざっくばらんな話をさせていただき、異業種の方との話は、またひと味違った新鮮さがありました。その後、お一人の方から希望があり、つばさの賛助会員になっていただきました。

編集後記

今年1番の出来事は、やはり6月11日の「10周年記念講演会」開催です。多くの方たちが、横浜にぎわい座にお越しいただきました。顔の見える関係がいかに大切かを、身に染みて感じた1日でした。

今年も残りわずかになりました。皆様どうぞ自愛ください。

(川村・林・中和田)